

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【公表番号】特表2015-513535(P2015-513535A)

【公表日】平成27年5月14日 (2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-558090(P2014-558090)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 31/713

C 1 2 N 15/00 G

C 0 7 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月20日 (2016.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウイルス感染を予防または治療するための使用のための、ホスファチジルセリンと T I M レセプターとの間の相互作用の阻害剤であって、

( i ) T I M レセプター阻害剤、および / または

( i i i ) ホスファチジルセリン結合タンパク質

である阻害剤。

【請求項 2】

T I M レセプターが、T I M - 1、T I M - 3 または T I M - 4 である、請求項 1 ( i ) 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 3】

T I M レセプター阻害剤が、抗 T I M レセプター抗体、アンチセンス核酸、模倣体または変異型 T I M レセプターである、請求項 1 または 2 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 4】

ホスファチジルセリン結合タンパク質が、抗ホスファチジルセリン抗体またはアネキシン 5 である、請求項 1 または 2 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 5】

T I M レセプター阻害剤が、配列番号 1、2、3、または 4 の配列の s i R N A である、請求項 3 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 6】

ウイルスがホスファチジルセリン保有ウイルスである、請求項 1 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 7】

ホスファチジルセリン保有ウイルスが、アルファウイルスまたはフラビウイルスである、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載の使用のための阻害剤。

【請求項 8】

アルファウイルスがチクングニヤウイルスである、請求項 7 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 9】

フラビウイルスが、ウエストナイルウイルス、黄熱ウイルスまたはデング熱ウイルスである、請求項 7 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 10】

前記阻害剤が、少なくとも 1 種の他の抗ウイルス化合物と組み合わせて連続的または同時のいずれかで投与するための、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の使用のための阻害剤。

【請求項 11】

他の抗ウイルス化合物が、ホスファチジルセリンと T A M レセプターとの相互作用の阻害剤である、請求項 10 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 12】

ホスファチジルセリンと T A M レセプターとの相互作用の阻害剤が、  
( i ) T A M レセプター阻害剤、および / または  
( i i ) G a s 6 阻害剤  
である、請求項 11 記載の使用のための阻害剤。

【請求項 13】

前記阻害剤が、薬学的に許容されうる組成物に製剤化される、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項記載の使用のための阻害剤。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の阻害剤および追加的に少なくとも 1 種の他の抗ウイルス化合物を含む薬学的組成物。

【請求項 15】

少なくとも 1 種の他の抗ウイルス化合物が、ホスファチジルセリンと T A M レセプターとの相互作用の阻害剤である、請求項 14 記載の薬学的組成物。

【請求項 16】

ホスファチジルセリンと T A M レセプターとの相互作用の阻害剤が、  
( i ) T A M レセプター阻害剤、および / または  
( i i ) G a s 6 阻害剤  
である、請求項 15 記載の薬学的組成物。

【請求項 17】

細胞内へのホスファチジルセリン保有ウイルス、特にフラビウイルスの侵入を阻害する in vitro 方法における、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の阻害剤の使用。